

〈女性の变身行動・变身願望に関する意識調査〉

まるで別人!見た目もキャラも 七変化!

イマドキ女子の約7割が別人格の『变身女子』

「非日常の刺激」と「他人評価」を重視

变身メイクは“お直し”ではなく、もはや“フルモデルチェンジ”!?
メイクを全て落として、一からまたやり直す女子 14.4%

株式会社マンダム(本社:大阪市 社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、首都圏に住む18~39歳の女性を対象に、シーンや気分に合わせて別人のように变身する女性の行動や願望に関する意識調査を実施した結果、イマドキ女子(18~29歳)の变身実態が明らかになりましたので報告いたします。

【調査概要】調査方法:インターネットリサーチ 調査時期:2014年10月実施 調査対象:首都圏在住の18~39歳女性1100名

【結果要約】

1.イマドキ女子の3割以上が、まるで別人のような「变身女子」を“経験”。“願望”を含むと7割!

イマドキ女子(18~29歳)の3割以上の31.2%が、別人のように变身経験のある「变身女子」であることが明らかに。变身願望のある人も合わせると、68.9%と約7割に。また半数以上の50.8%が、「常にシーンと相手に合わせて自分を使い分け」。

2.变身女子は多重キャラ!?平均2.7人の自分を使い分け、10人以上使い分ける強者も。

变身女子は、平均2.7人の自分を使い分けている。さらに3人以上と回答した人が全体の38.5%で、なかには、10人以上と回答した強者が1.3%も存在することが判明した。

3.变身は「見た目」だけではない!「話し方や言動」まで変えて、別人格に变身。

別人のように自分を変えるときは、1位服装(61.6%)2位メイク(54.5%)4位髪型(43.9%)と外見の变身が上位にランクイン。一方、3位は話し方や言動(44.2%)となっており、外見だけでなく話し方まで変えている実態が明らかに。

4.若い人ほどまわりの評価を得たい。「同性」の目線が最も気になる。变身すると非日常にワクワク。

若い層ほど、「他人からの評価」を求めて变身。「彼氏」「異性の友達」よりも、「同性の友達」を最も意識。变身すると「非日常の刺激にワクワクする」一方で、「その場に馴染んで落ち着く」。

5.もはやフルモデルチェンジ!メイクを“全て”落としてまたやり直す『变身女子』は14.4%。

別人のように变身するときのメイク時間は20~30分が最も多く25.1%、仕事や学校の後でも、ベースメイクを一度落として、メイクし直す女性は20.4%。アイメイク含む全てのメイクを落としてもう一度メイクし直す女性は14.4%も存在。『变身女子』の徹底的な变身行動が浮き彫りとなった。

6.わざわざ帰宅して变身する人が最も多く48.2%。「駅」や「ショッピングモール」の化粧室も人気。

仕事や学校が終わった後、メイクや服装などを別人のように变身する場所は「自宅または友人の家」と回答した人が最も多く48.2%を占め、わざわざ家に帰って变身する本気度が感じられる。また、「駅の化粧室」(29.4%)「ショッピングモールなどの化粧室」(28.7%)、が続き、街中の化粧室を上手く活用して变身していることが分かった。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社マンダム
PR担当

●東京オフィス 下川 / 村上

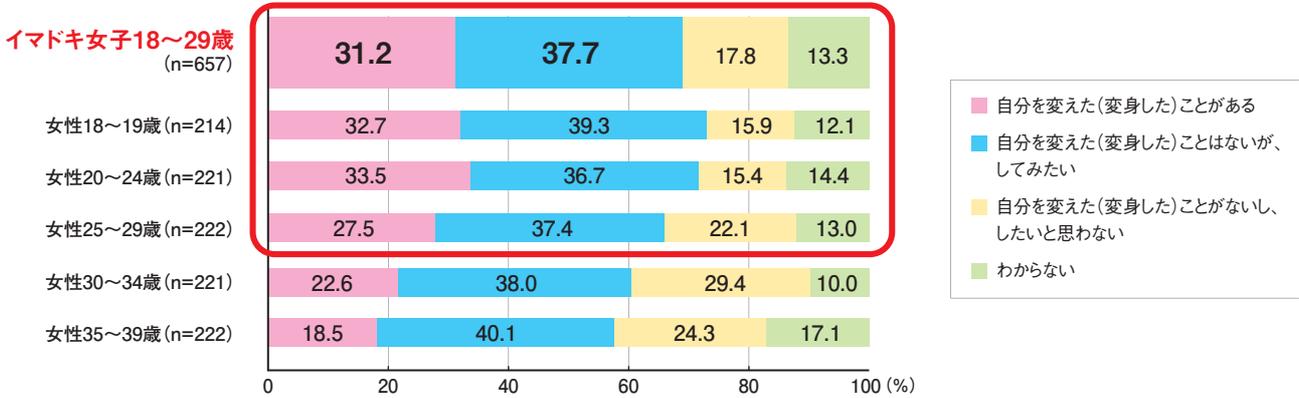
TEL.03-5204-9085 FAX.03-5204-9086
HP. http://www.mandom.co.jp

《女性の「変身実態」に関する調査》

～まるで別人のように変身する女性が3割以上! 顔(別顔)を使い分けるイマドキ女子の実態とは～

1. イマドキ女子の3割以上が、まるで別人のような「変身女子」を“経験”。“願望”を含むと7割!

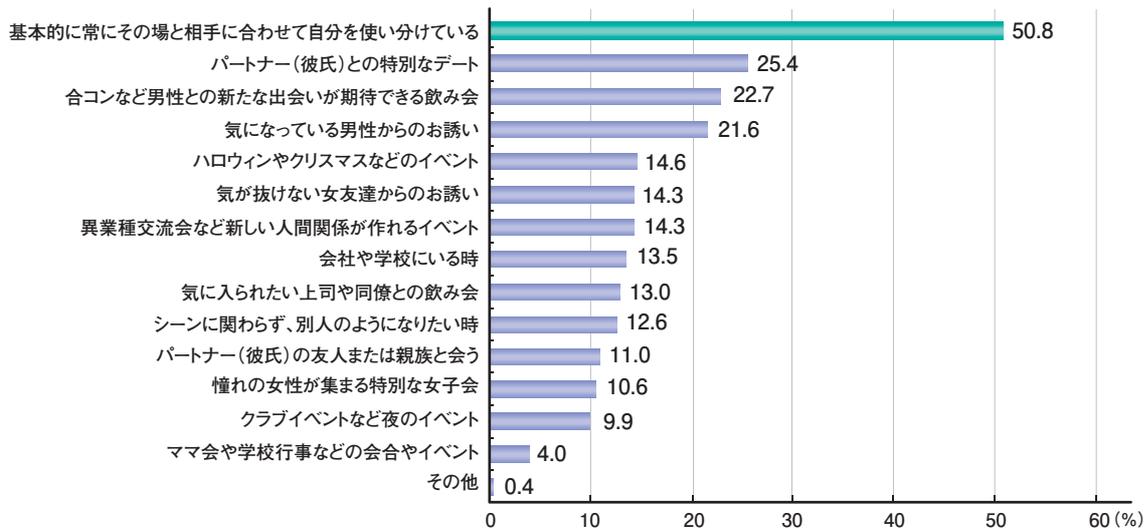
Q1-1 シーンや相手によって、別人のように自分を使い分けたり、自分を変えた(変身した)経験は?



シーンや相手によって、別人のように自分を使い分けたり、自分を変えた(変身した)ことがあるかを調査したところ、全年代において、変身経験・願望があることがわかった。とりわけ18～29歳のイマドキ女子においては、実際に「自分を変えた(変身した)ことがある」(以下、変身経験がある)と回答した人は31.2%となり、全体の3割以上の方が「変身女子」であるという結果に。「自分を変えた(変身した)ことはないが、してみたい」(以下、変身願望がある)と回答した人は37.7%存在し、変身経験・変身願望を合わせると68.9%となり、全体の約7割が普段の自分とは違う、別の自分を使い分ける志向が浮き彫りになった。

さらに年代別に見てみると、年代を重ねるにつれ、実際の変身経験は減少していくが、自分を変えてみたいという心の中の願望はむしろ増大傾向にあることがわかった。

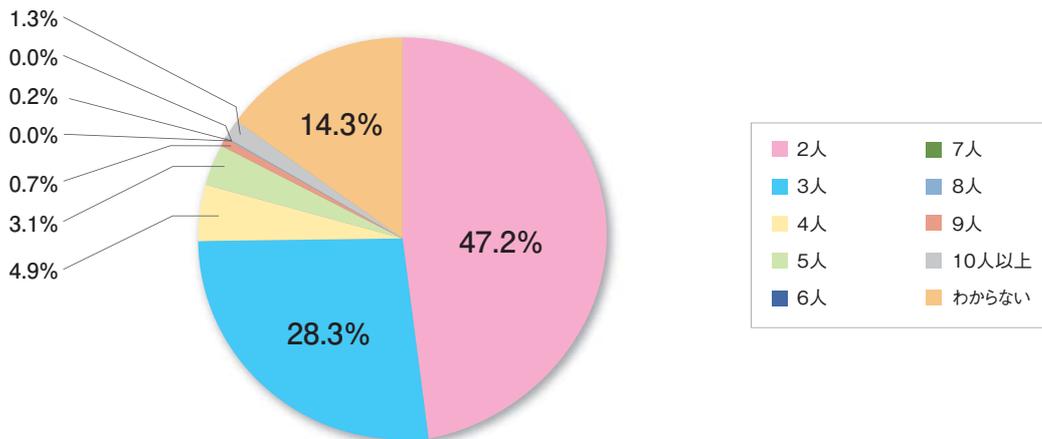
Q1-2 あなたが、別人のように自分を変える(変えたい)シーンは? (n=453) ※18～29歳 変身女子



また、別人のように自分を変える(変えたい)シーンについては、半数以上の50.8%の人が、どのシーンという特別なものではなく、「基本的に常にその場と相手に合わせて、自分を使い分けしている」と回答しており、変身女子の日常的な変身行動が浮き彫りとなったと同時に、男性との出会いや接点の機会での変身も多く見られる。

2. 変身女子は多重キャラ!? 平均2.7人の自分を使い分け、10人以上使い分けの強者も。

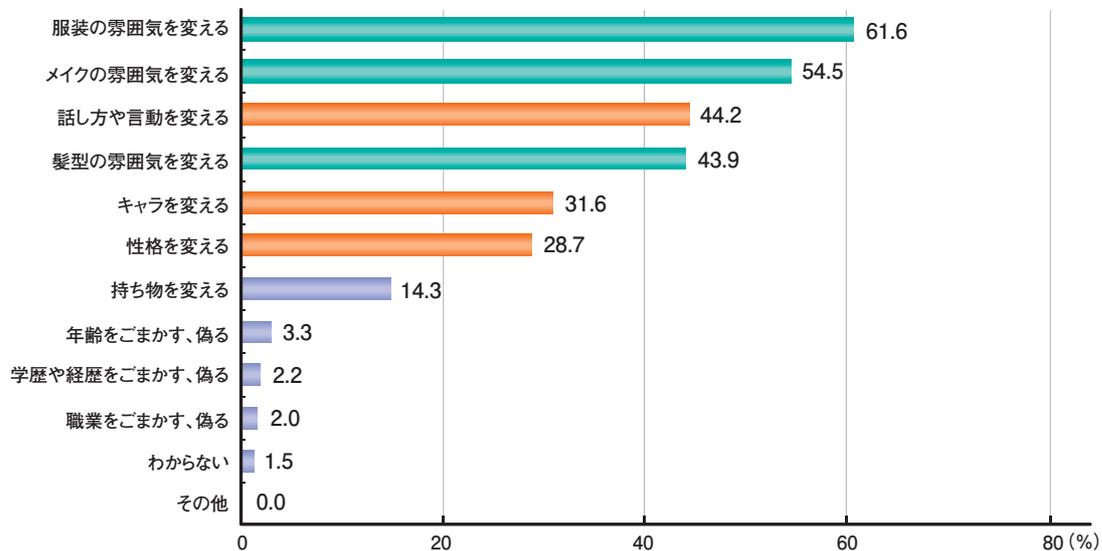
Q2 何人の自分を持っているか、使い分けしてみたいと思うか? (n=453) ※18~29歳 変身女子



変身経験・願望のある人を対象に、何人の自分に変身(使い分け)しているか、また、変身(使い分け)してみたいと思うかを聞いたところ、平均で2.7人の顔を使い分けしていることがわかった。なかには、10人以上の自分に変身する、また変身してみたいと回答した強者が、全体の1.3%も存在することがわかった。

3. 変身は「見た目」だけではない! 「話し方や言動」まで変えて、別人格に変身。

Q3 別人のように自分を変える(変身する)とき、具体的にを行う行動は? (n=453) ※18~29歳 変身女子



変身経験・願望のある人を対象に、変身のための具体的な行動を聞いたところ、「服装の雰囲気を変える」(61.6%)、「メイクの雰囲気を変える」(54.5%)、「髪型の雰囲気を変える」(43.9%)など、「外見」の変身が上位にランクイン。一方、「外見」ではなく「話し方や言動を変える」(44.2%)、「キャラを変える」(31.6%)、「性格を変える」(28.7%)と、自分の使い分け、変身においては、「内面」の変身も重要なポイントであることがわかった。

変身行動は、単にTPOに合わせたおしゃれのバリエーションにとどまらず、見た目やキャラも異なる多様な自分、まさに“別人格”を作る気合を感じさせる。

《女性の「変身心理」に関する調査》

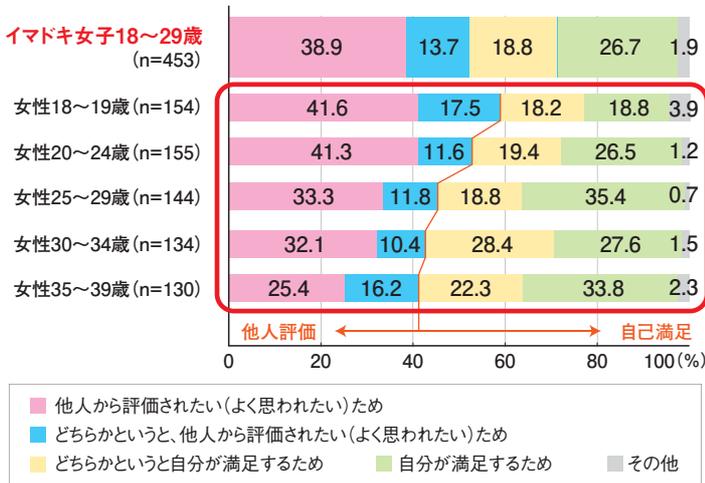
～人から同性から評価されたい!他者を気にしつつも、非日常にワクワク…心理を解析～

変身経験・願望のある人を対象に、変身する心理について、以下の調査を行った。

4. 若い人ほどまわりの評価を得たい。「同性」の目線が最も気になる。

変身すると非日常にワクワク。

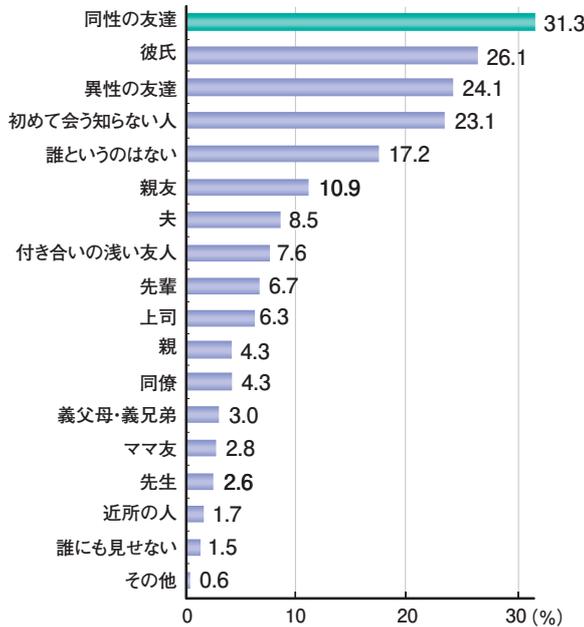
Q4-1 あなたが、別人のように自分を変えたい(変身したい)目的は何ですか?



変身経験・願望のある人を対象に、自分を変える(変えたい)目的を聞いたところ、年代別の傾向が顕著に表れた。若い層ほど他人の評価をもらうための変身であり、年齢を増すほどに自分の満足のための変身だと言える。周囲と自分の存在価値のバランスを考え、常によき印象を作ろうとする志向や話題になりたい志向などが垣間見れる。25歳を境に、変身の目的は「他人の評価」より、「自己満足」が高くなり、自他の優先順位が逆転する心理境界線があることが浮き彫りとなった。

Q4-2 今後別人のように変身した自分を見せたいのは誰ですか?

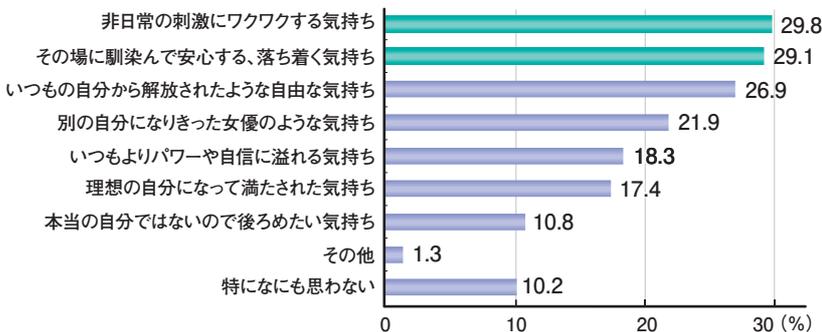
(n=453) ※18～29歳 変身女子



また、今後変身した自分を見せたいのは、「同性の友達」が31.3%と最も高く、「彼氏」「異性の友達」といった男性よりも、女性の目線、評価を気にする結果に。男性から「モテたい」「好かれない」というよりもまず、近くの女性の友達に見てもらいたい、評価されたいという意識が強い傾向にあるようだ。

Q4-3 別人のように自分を変える(変身する)ときの心理について

(n=453) ※18～29歳 変身女子



別人のように自分を変える(変身する)ときの心理を聞いたところ、「非日常の刺激にワクワクする気持ち」を選択した方が最も多く29.8%となった。普段とは違う自分を演じることで、普段の自分を忘れて非日常を楽しみたいという心理が働いていることが読み取れる。また、ほぼ同じ割合で、29.1%が「その場に馴染んで安心する、落ち着く気持ち」と回答。いつもと違う自分を楽しみながら、イマドキ女子らしく周囲からの評価を気にし、空気を読んで周りとは合わせる傾向が現れる結果となった。

《女性の「変身方法」に関する調査》

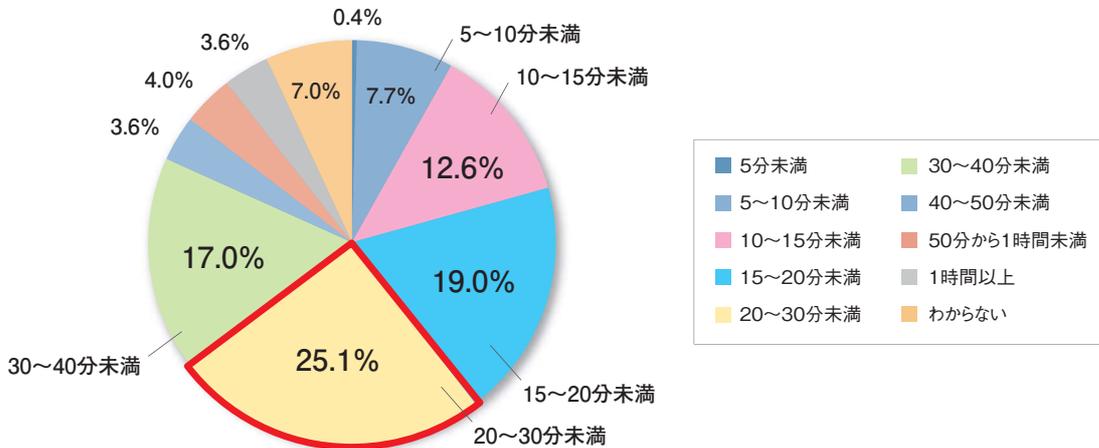
～イマドキ女子は本気で変身! 自宅や駅の化粧室でメイクを落としてフルモデルチェンジ～

変身経験・願望のある人を対象に、変身方法について、以下の調査を行った。

5. もはやフルモデルチェンジ!メイクを“全て”落としてまたやり直す『変身女子』は14.4%。

Q5-1 あなたが別人のように自分を変える(変身する)とき、メイクに要する時間はどのくらいですか?

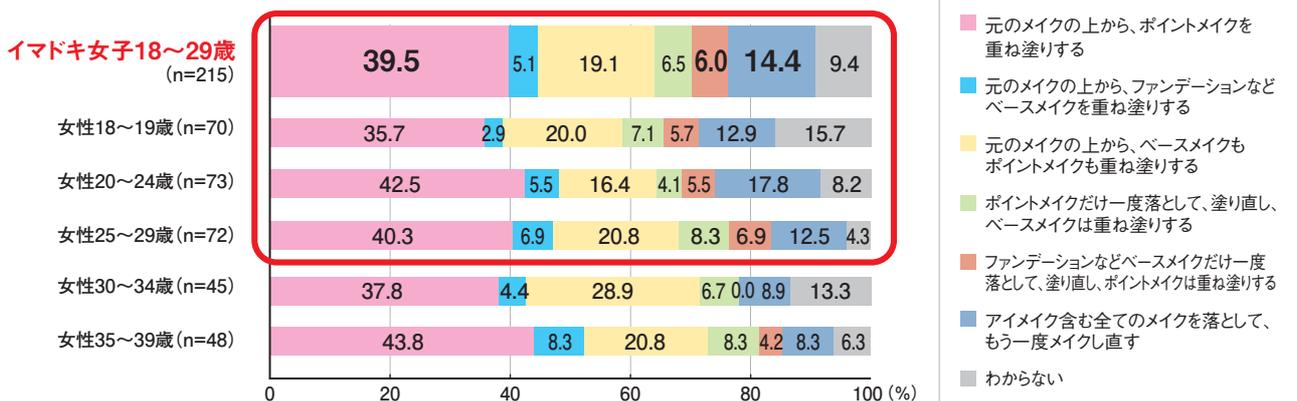
(n=247) ※18～29歳 変身女子で「メイクの雰囲気を変える」と答えた人



変身するときに「メイクの雰囲気をを変える」と回答した人に、別人のように変身するときのメイク時間を聞いたところ、20～30分が最も多く、20分以上かける人は半数以上の53.4%という結果となった。メイクには時間をしっかりとかける傾向があることがわかった。

Q5-2 仕事や学校の後、別人のように自分を変える(変身する)ためのメイク直しは?

※「メイクの雰囲気をを変える」と答えた学生及び有職者に聞きました

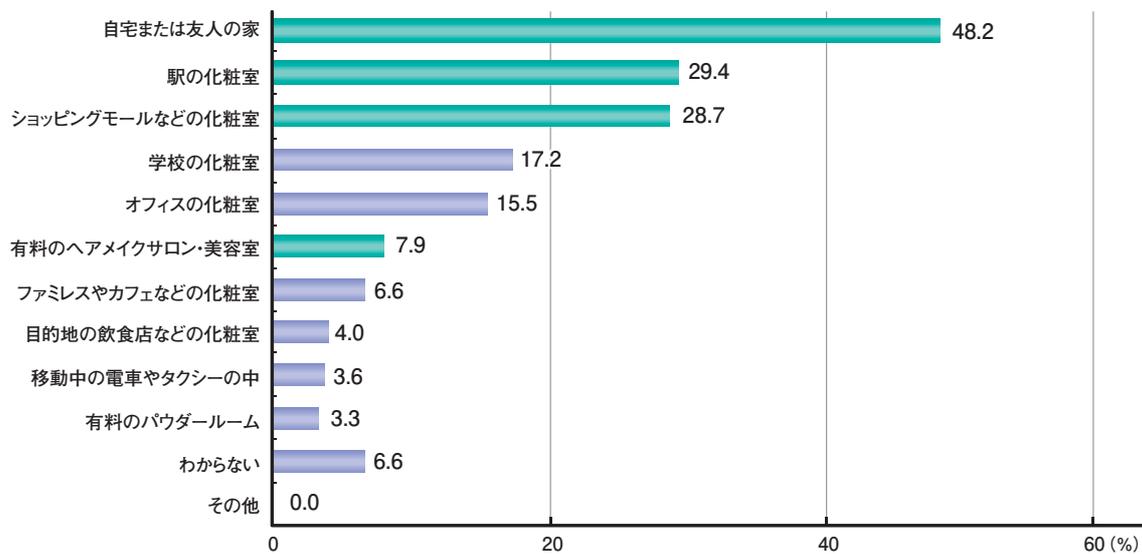


学生・働く女性で、仕事や学校が終わった後、別人のように自分を変える(変身する)時に「メイクの雰囲気をを変える」と回答した人を対象に、メイク直しの程度について聞いたところ、最も多かったのは手軽にイメージを変えられる「元のメイクの上から、ポイントメイクを重ね塗りする」(39.5%)だった。一方、手間と時間がかかるにも関わらず、ベースメイクを一度落としてメイクをし直す人は20.4%と意外に多く、さらに「アイメイクを含む全てのメイクを落として、もう一度メイクし直す」と回答した人の割合は、14.4%も存在し、3番目に多い割合となった。

さらに年代別に分析したところ、全体と比較して、20～24歳においては「アイメイクを含む全てのメイクを落として、もう一度メイクし直す」人の割合がさらに高くなり、17.8%という結果となった。“整形メイク”と言われるような巧みなメイクテクニックを持つと言われるイマドキ女子は、もはや“メイクを直す”のではなく、フルチェンジと言えるほど、全てをリセットし、ベースから化粧をするという、徹底的な変身行動を取っていることが浮き彫りとなった。

6. わざわざ帰宅して変身する人が最も多く48.2% 「駅」や「ショッピングモール」の化粧室も人気。

Q6 仕事や学校の後、別人のように自分を変える(変身する)場所は? (n=303) ※変身女子の学生及び有職者



学生・働く女性で、「メイクや服、髪型などの雰囲気を変える」と回答した女性を対象に、仕事や学校が終わった後、別人のように自分を変える(変身する)場所について聞いてみたところ、最も多かったのは「自宅または友人の家」(48.2%)という結果となり、わざわざ家に帰って変身するという、女性の本気度が浮き彫りとなった。

また、それに続く変身場所として、「駅の化粧室」「ショッピングモールなどの化粧室」を利用しているといった回答が多くを占めた。最近では、充実したパウダールームを完備したデパートやショッピングモールや、駅の化粧室もキレイにリニューアルされたところが増え、女性がゆっくりと利用できるうれしい設備が整ってきていることも影響しているのか、外出先や、仕事後の限られた時間のなかでも、街中の化粧室を活用して、スマートに別人のように変身しているイマドキ女性の姿が浮かび上がった。

また、なかには「有料のヘアメイクサロンや美容室」を利用する人が、7.9%もあり、時短のためか、気合の変身のためか、プロの力を借りた本格的な変身をする人も意外に多いことがわかった。